# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

11-183659

(43) Date of publication of application: 09.07.1999

(51)Int.CI.

G04G 1/00

G04B 47/00

HO4N 5/225

(21)Application number: 09-369997

(71)Applicant : JET KK

(22)Date of filing:

19.12.1997

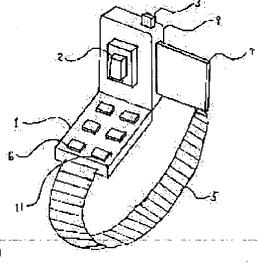
(72)Inventor: YAMADA KENJI

### (54) WRIST WATCH TYPE DIGITAL CAMERA

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To read time being displayed on a watch while a compact camera is fitted, picks up an image by the camera, and store the image in a floppy disk by mounting the compact camera on a wrist band part.

SOLUTION: A wrist watch type digital camera starts operating by a power switch 6 being fitted to a belt 5. A finder 2 at a finder part 9 shrinks when it is closed and is accommodated in the finder part 9. A compact floppy 7 is inserted from a take-in port and is ejected by pressing an operation button 11. A shutter 3 is mounted to the outside of the finder part 9 and can be pressed by fingers. A lens is fitted to a finder lens part, thus monitoring an object through a lens from the finder 2. Also, a display is fitted to the finder lens part to display time in the display. With this structure, since the digital camera is fitted to the wrist, a speedy response to the situation and image storing into the compact floppy 7 become possible.



#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application

# (19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

# (11)特許出願公開番号

# 特開平11-183659

(43)公開日 平成11年(1999)7月9日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>		識別記号	ΡI			
G 0 4 G	1/00	3 1 9	G 0 4 G	1/00	319C	
G 0 4 B	47/00		G 0 4 B	47/00	Z	
H 0 4 N	5/225		H 0 4 N	5/225	D	

#### 審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全 3 頁)

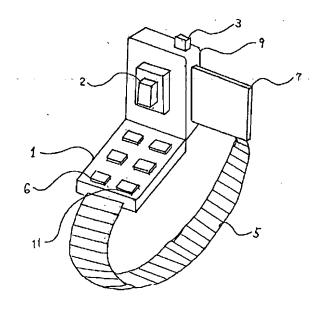
(21)出顧番号	特顧平9-369997	(71)出願人	
(22)出顧日	平成9年(1997)12月19日		ジェット有限会社 東京都練馬区上石神井1丁目20番7号
		(72)発明者	山田 健司
			東京都練馬区上石神井1丁目20番7号
			,

# (54)【発明の名称】 腕時計型デジタルカメラ

#### (57)【要約】

【課題】小型カメラと腕時計が、一体化できれば常時手 首に装着でき時計も見ることができ、カメラも写すこと ができる

【解決手段】本発明は小型カメラと腕時計を一体化しべ ルトで手首に装着した事で、常に時計が見ることがで き、カメラも写すことができる。又時計カメラ本体部を 開閉式にしたため、非常にコンパクトでプッシュボタン も押しやすくカメラのファインダーも見安くやった。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 小形カメラの本体部分(1)とベルト (5) が一体担っているため小形カメラを装着したまま 写真を写すことができる。

【請求項2】 本体部分(1)に小形フロッピーディス ク(7)を差し込み写した写真を、記憶することができ

【請求項3】 本体部分(1)を開閉式にし開いた部分 の内側にファインダー(2). シャター(3). レン けたため非常に操作がしやすい

【請求項4】 本体部分(1)を閉じた状態でもディス プレイ(8)に時刻が表示されるため、何時何処でも小 形カメラを装着したまま時計がみれる

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は,リストバンド部に 小形カメラを取り付け、装着した状態でも時計を見る事 ができカメラを写すことができる。又カメラで写した映 像をフロッピーディスクによって記憶できる

#### [0002]

【従来の技術】マイクロソフトの進歩で、デジタルカメ ラが普及し, 小形化が進んでいる

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】現在使用されているカ メラでは小形化は、進みましたが日々常に、持ち歩くま では進んでいません。

【0004】小形カメラを手首に装着し、写真を写す 際、ファインダーに目を接近させづらい。

【0005】小形カメラを手首に装着し、写した映像を 30 ピーに記憶できることが本発明の特徴である。 記憶させることができない

【0006】小形カメラを手首に装着した際、小形カメ ラといっても大きくなってしまう又小さくすると操作が しずらい

#### [0007]

【課題を解決するための手段】図1は、本発明の腕時計 型デジタルカメラを、本体部(1)からファインダー部 (9)を開いた斜視図である。この小型カメラを手首に 装着し、図3のように手首に装着しているカメラのファ インダーが人の目に接近させるために、図1の(2)の 40 ファインダーを引き伸ばして手首に装着したまま(3) のシャターが切れる。操作ボタン(6)もカメラに装着 してある。又小型フロッピーディスク(7)も内臓され ていて写した映像を常に記憶ができる。本体部(1)と ファインダー部(9)が、開閉式になっているためカメ ラを使用しない場合は、図2のように閉じた状態であれ ば、時計(8)の時刻も見ることができ尚かつコンパク トになるため、常に持ち歩くことができる。

### [0008]

【発明の実態の形式】以下添付図面に従って実施例を説 50 12 ディスプレイ部表面

明する。

[0009]

【実施例】図1は、本発明の腕時計型デジタルカメラを 本体部(1)から、ファインダー部を開いた斜視図であ る。腕時計、カメラ本体部と、ベルト(5)を装着して ある、スイッチ関係(6)をプッシュすることによって 腕時計デジタルカメラが機能する。開いたファインダー 部(9)のファインダー(2)は、収縮するため閉じた 際にファインダー部(9)内に収納される。小型フロッ ズ類 などを取り付け、本体部分に操作ボタンを取り付 10 ピー(7)は、図2の取り入れ口から挿入する取り出す 際は、ボタン(11))をプッシュし取り出す。シャタ ー(3)はファインダー部(9)の外部に取り付けてあ る。シャター(3)を押す時はさのまま指でプッシュす ればシャター(3)が切れる。

2

【0010】図2は、ファインダー部(9)を閉じたと きの斜視図である。ファインダーレンズ部(12)には レンズ(4)が装着してあり、ファインダー(2)から レンズ(4)を通して被写体を見ることができる。尚フ ァインダーレンズ部(12)にはディスプレイ(8)装 20 着されていてディスプレイ内に時計の時刻が表示され

【0011】図3は本体を手首に装着し、実際に人がカ メラを写している状態の図である

#### [0012]

【発明の効果】上述の様に本発明によって、腕時計デジ タルカメラを手首に装着出来、常時付けているため、瞬 間的に写したい場面でも手首に装着しているので、素早 く対応できるようになる。又時計の役割もしているので 常に時刻がみることができる。写した映像は小型フロッ

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の腕時計型デジタルカメラを本体部のフ ァインダー部を開いた時の斜視図である。

【図2】本体部とファインダー部を閉じた状態を示す斜 視図である。

【図3】腕時計型デジタルカメラを実際に人が使用して いる状態を示す図である。

#### 【符号の説明】

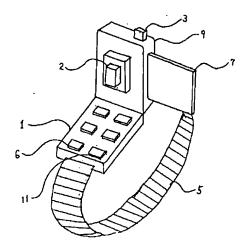
- 本体部 1
- ファインダー 2
- 3 シャター
- レンズ 4
- 5 ベルト

7

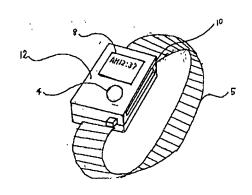
- 6 電源スイッチ
- 小型フロッピー 8 時計表示ディスプレイ
- 9 ファインダー部
- 10 フロッピー差し込み口
- 11 フロッピー引き出しスイッチ

02/11/2004, EAST Version: 1.4.1

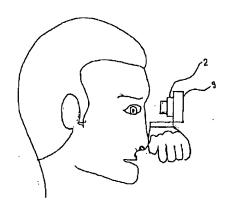




【図2】



【図3】



02/11/2004, EAST Version: 1.4.1